
MemsONE

導入手順書

H26. 08. 12

第 6. 1 版

MemsONE サポートセンター

はじめに

MemsONE は経済産業省／NEDO 技術開発機構の委託により平成 16 年度から 18 年度末までの 3 ケ年におよび実施された MEMS-ONE プロジェクト (MEMS 用設計・解析支援システム開発プロジェクト) の成果物をベースにして構築されたソフトウェアのシステム名称です。

MemsONE-V6.0 は、MemsONE-V5.0 版に各種の機能強化や機能改善を加えたソフトウェアバージョンであり、広く一般に普及販売することにより、多くの MEMS 分野での技術者や研究者に設計・解析用の支援ツールとして活用していただくことを目的にリリースされます。

内容

本書は、MemsONE の導入にあたって必要な作業手順および操作方法を説明しています。

なお、操作仕様や画面イメージに関しては、実際に導入される MemsONE とは、細部で異なることがあります。また、OS (XP/vista/7/8) により、画面イメージは異なりますが、特に断らない限り、本書では XP の画面イメージを使用して操作説明を行っています。

運用ソフトウェア

本書の内容は、MemsONE-V6.0 版を対象としています。

関連資料

MemsONE フレームワーク機能操作解説書

商標登録

MemsONE (メムスワン) は、一般財団法人マイクロマシンセンターの登録商標です。

その他記載されているソフトウェア製品名称は所有者の商標またはそれに順ずる登録を受けています。

更新履歴表

版名	改訂日付	主要改訂内容
第 1.0 版	H20. 2. 20	初版
第 2.0 版	H21. 1. 30	①Windows vista MC の導入に関する追記 ②β 版関連記述の削除 ③その他、細部記述の補足・修正
第 3.0 版	H22. 1. 8	MemsONE-V3.0 のリリースに伴う改訂 ①1. 3. 2 その他留意事項⑧の追記 ②その他、細部の記述、画像などの更新
第 4.0 版	H23. 1. 20	MemsONE-V4.0 のリリースに伴う改訂 ①Windows 7 の導入に関する追記 ②インストーラ手順の簡易化 ③仮想ドライブ R の廃止と、P, Q の実行時設定
第 5.0 版	H24. 1. 20	MemsONE-V5.0 のリリースに伴う改訂 ①RunTime ライブラリーパッケージの導入操作 ②MySQL のアンインストール時の注意事項追記
第 6.0 版	H25. 11. 25	MemsONE-V6.0 のリリースに伴う改訂 ①内容を見直し分かり易く微修正
第 6.1 版	H26. 08. 12	MemsONE-V6.0 の Windows8 対応に伴う改訂 ①UAC 設定への追加設定 (管理者として実行) の追記

－ 目 次 －

1. MemsONE 導入手順の概要と導入環境	1
1. 1 MemsONE 導入手順の概要	1
1. 2 MemsONE 導入環境	3
1. 3 MemsONE 導入における留意事項	4
1. 4 MemsONE 導入に先立つ事前確認作業	8
2. DVD メディアによるインストール操作手順	10
2. 1 Microsoft .NET Framework 2.0 が未導入の場合のインストール	10
2. 2 インストール初期画面の起動	12
2. 3 Java (JRE1.5.0_13) のインストール	13
2. 4 MySQL Server5.0 のインストール	15
2. 5 MemsONE 本体のインストール	25
2. 6 材料データベースのインストール	29
2. 7 完了の実行	30
3. ライセンス登録	33
3. 1 ユーザ情報ファイルの作成	33
3. 2 ライセンスキーファイルの取得	34
3. 3 ライセンスファイルの実行環境への登録	34
4. MemsONE の実行	35
4. 1 MemsONE の起動方法	35
4. 2 MemsONE 導入による実行環境	35
5. アンインストールの方法	37
5. 1 アンインストールの対象プログラム	37
5. 2 アンインストールプログラム起動	37
5. 3 MemsONE 本体のアンインストール	38
5. 4 MySQL Server5.0 のアンインストール	40
5. 5 Java (JRE1.5.0_13) のアンインストール	42
5. 6 完了の実行	44
補足 1. MySQL の同居について	45

1. MemsONE 導入手順の概要と導入環境

1. 1 MemsONE 導入手順の概要

MemsONE 実行環境はソフトウェア及びデータベースの構造として、OS (Windows XP/vista/7/8) 上の下記コンポーネントから構成されています。

- ①フレームワークソフト、解析ソフト、MZ-Platform (MemsONE 本体ソフト)
- ②材料データベース
- ③JAVA (バージョン 1.5.0_13)
- ④MySQL (バージョン 5.0)
- ⑤.NET Framework (バージョン 2.0 以上)

ここで、①②は MemsONE 固有のソフトウェア&データベースであり、③④⑤は MemsONE 実行の為に必要な外部導入ソフトです。

コンポーネント間の階層構造は次の通りです。

①フレームワーク、解析ソフト、MZ-Platform	
②材料データベース	
③Java	④MySQL
⑤.NET Framework	
Windows XP/vista/7/8	

MemsONE 導入は、主に以下のプロセスにより行われます。
なお、本書における「導入」は、インストールを含む MemsONE 実行環境の構築作業全般を意味します。

1) .NET Framework 2.0 以上が導入済みか否かの確認

.NET Framework 2.0 以上は逆問題ソフトの作動に必須です。

未導入 (XP の場合) の場合はインストールが必要です。

一度インストールした後は、原則として、アンインストールは行いません。

2) 既に MemsONE 固有ソフトが導入済みの場合のアンインストール

既に MemsONE 固有ソフト (上記①②) がすでに導入済みの環境に再導入する場合は、インストールに先立ち、該当ソフトのアンインストールが必要となります。

3) Java のインストール

Java は、MZ-Platform の作動の為に必要なソフトです。

4) MySQL のインストール

MySQL は、材料データベースの作動の為に必要なソフトです。

5) MemsONE 本体のインストール

フレームワークソフト、解析ソフト、MZ-Platform の導入を行います。

MZ-Platform は、MemsONE 作動のために必須です。

6) 材料データベースのインストール

材料・プロセスデータベースの導入を行います。

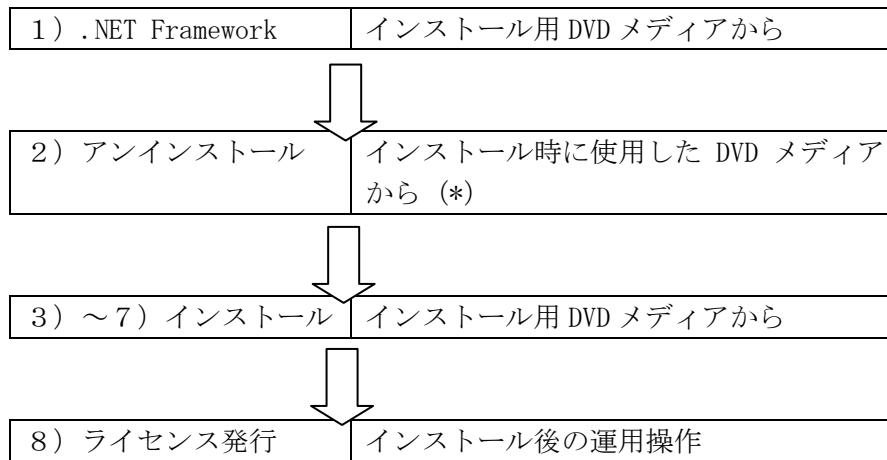
7) 「完了」指示

①～④のソフトウェアおよびデータベースを有機的に関連付けて、統合システムとして作動するための実行環境を構築します。

8) ライセンスの登録

MemsONE の実行環境が構築された後、MemsONE のライセンス発行部署から許諾されたライセンスキーを実行環境に組み込む必要があります。

ライセンスキーは導入 PC のハードウェアに固有です。導入 PC を変更する場合は、ライセンスの再発行が必要となります。また、PC のハードウェア構成が変更になった場合や再インストールを行った場合もライセンスキーの再発行が必要となる場合があります。



(*) インストール時の DVD メディアが存在しない場合は、「コントロールパネル」の「プログラムの追加と削除」により、アンインストールしてください。

- 1) .NET Framework のインストール手順の詳細は 2.1 節で説明されます。
- 2) アンインストールに関しては第 5 章で説明されます。
- 3) ~7) の MemsONE 本体と外部導入ソフトのインストール手順の詳細は、2.2 節~2.7 節で説明されます。
- 8) ライセンス登録は第 3 章で説明されます。

1. 2 MemsONE 導入環境

MemsONE の導入対象となる PC の OS・ハードウェア環境およびソフトウェア環境は下記のとおりです。項目説明中に必須の記述があるものは、導入の為の必須項目です。

<OS・ハードウェアの推奨 SPEC>

SPEC 項目	推奨 SPEC	備考
OS	Windows XP / vista / 7 / 8 <XP の場合> 32bitCPU、SP2 以上 (必須) <vista、7、8 の場合> 32bitCPU 又は、X64 系の 64bitCPU (必須) vista の場合は、SP1 以上 (必須)	・ SP : OS の Service Pack ・ vista、7、8 に関しては、運用上の制約があります。1.3.2 項を参照 (管理者権限での実行、UAC の OFF、透明感表示の OFF など)
CPU	PentiumIV (相当) で 2.0Ghz 程度以上	解析ソフトの処理時間に大きく影響します
メモリ(最少)	1G~2G 程度 vista、7、8 の場合は、2G 以上	操作レスポンス、解析ソフトの処理時間や規模に大きく影響します
空きディスク容量	10G 以上	実行結果データなど、運用以降も考慮した容量
グラフィックボード	OPEN-GL 対応ボード (必須)	下記、留意事項を参照
外部インターフェース	DVD の読み込みドライブ付 (必須)	インストール用メディアは DVD

<ソフトウェア環境>

必要ソフトウェア	推奨バージョン	備考
Microsoft Excel	Excel 2003 以上	解析結果のグラフ・リスト出力処理で使用します

補) 上記導入環境は、MemsONE の全機能の動作を完全に保障するものではありません。

特に、グラフィックボードに関しては、実作動による確認が必要となります。

事務処理目的の PC に付随しているボードは 2 次元処理が主で、不正表示、表示効率悪化などが想定されます。

MemsONE 起動後、CAD 画面 (マスク CAD 画面, デバイス CAD 画面) での表示や動作障害の発生する場合は、OPEN-GL の設定を確認してください。

OPEN-GL の設定は、通常、コントロールパネル/画面のプロパティ/詳細設定以降で確認・変更可能です。ここで、デプスバッファの設定が、下記の状態であるか確認し、異なっていれば、設定変更してください。

なお、グラフィックボードにより設定用の GUI は異なりますし、この設定のないものもあります。

- ・デプスバッファ (「Z バッファ」、「色深度」等とも呼ばれます) が ON (16 ビット)

1. 3 MemsONE 導入における留意事項

1. 3. 1 MemsONE システムで内部的に使用する仮想ドライブ

MemsONE では実行中に、仮想ドライブ名として、P、Q ドライブ（固定）を使用します。この為、ドライブ名として P、Q ドライブが使用されていないことを確認してください。使用している場合は、MemsONE の起動前に、他のドライブ名に変更をお願いします。

1. 3. 2 その他の留意事項（重要）

<< Windows XP / vista / 7 / 8 共通 >>

- ①導入時は、管理者（Administrator）権限を持ったユーザ名でログインしてください。
- ②インストール先の実ドライブは、C ドライブを推奨します。
- ③インストール後、Java の自動 UpDate は原則として行わないでください。インストールにより設定した実行環境 JRE1.5.0_13 が変更されると MemsONE が正常に作動しなくなる可能性があります。
- ④インストール時に、ウィルスチェックソフトが作動しているとインストールに時間がかかります。可能であれば、非作動状態でインストールしてください。
- ⑤インストール PC の OS 環境に暗号化の仕組みが組み込まれている場合など、マイクロソフト社から提供される Windows の OS 環境と異なる場合は、MemsONE が正常に作動しない可能性があります。この場合は、OS 環境を標準的 Windows 環境に設定して導入してください。
- ⑥ネットワーク越しのインストール（インストール媒体を他 PC にセットし、ネットワーク経由でインストール媒体を参照・起動）は行わないでください。正常にインストールされません。（この場合は、インストール媒体内のファイルをすべて、インストール対象 PC に取り込み、取り込んだインストーラを起動してください）
- ⑦仮想メモリーの設定サイズの確認と変更
仮想メモリーの設定サイズを「コントロールパネル」からシステム／詳細設定／パフォーマンス／詳細設定／仮想メモリーから確認して、初期サイズを、2000MB 以上に設定してください。
- ⑧インストール時のアカウント以外のユーザアカウントで MemsONE を作動させる場合。
ユーザアカウントが管理者権限を持たない場合、MemsONE 実行時に読み書きするファイルへのアクセス制限のため、ファイル関連処理が正常に出来ないことがあります。
この際は、インストール後の運用操作として、下記設定を行ってください。
 - 1) アドミニ権限をもつユーザでログインし、ファイルエクスプローラを起動。
 - 2) エクスプローラの ツール→フォルダオプション→「表示」タブの詳細設定で、「簡易ファイルの共有を使用する（推奨）」のチェックをはずし、「適用」する。
 - 3) MEMS-ONE 以下のフォルダのアクセス権限を下記手順で変更する。
 - ・C ドライブ（導入されたドライブ）直下の MEMS-ONE フォルダー上で右クリックしプロパティを表示し、「セキュリティ」タブの「グループ名またはユーザ名」を確認します。
 - 該当アカウントユーザ（またはグループ）が存在しなければ (a) に、存在すれば (b) に。
 - (a) 「追加」ボタンを押し、「ユーザまたはグループの選択」ダイアログにおける「選択するオブジェクト名を入力してください」に該当アカウントユーザ名を入力し、「OK」して (b) へ。
 - (b) 「セキュリティ」タブの「グループ名またはユーザ名」で、該当アカウントユーザ（またはグループ）を選択し、「アクセス許可」の「フルコントロール」をチェックし、「詳細設定」の「アクセス許可」タブの一番下にある「子オブジェクトすべてのアクセス許可エントリを、・・・置換する」をチェックし「適用」指示→「OK」。

補足) MemsONE 実行中に、ファイルアクセス制限による問題が起きた際は、上記手順を該当フォルダー（またはファイル）に適用してください。

<< Windows vista / 7 / 8 の場合 >>

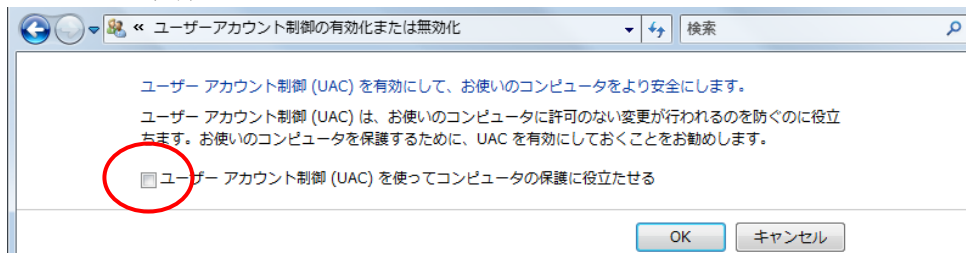
必ず、下記①～④の条件・設定下で、インストール作業ならびに、MemsONE の実行を行ってください。

①管理者権限をもつユーザ名で実行してください。

②ユーザアカウントコントロールを OFF にしておいてください。

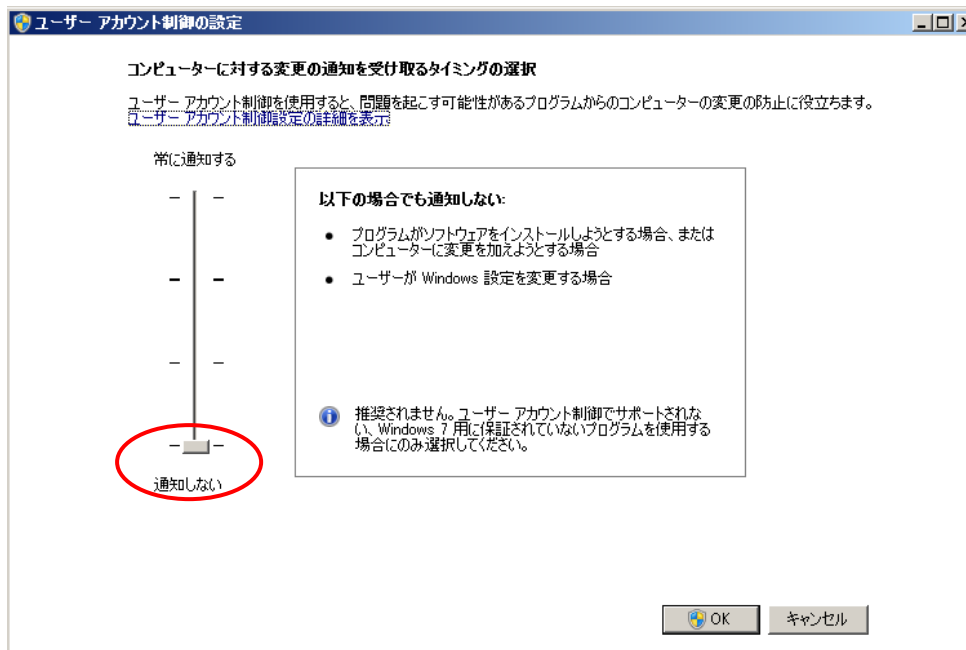
コントロールパネル→ユーザアカウントから、下記 GUI での UAC 設定のチェックを外してください。

< vista の場合 >



< 7、8 の場合 >

「通知しない」の設定してください。



③画面のプロパティで透明感の設定を外してください。

<vista の場合>



<7、8の場合>

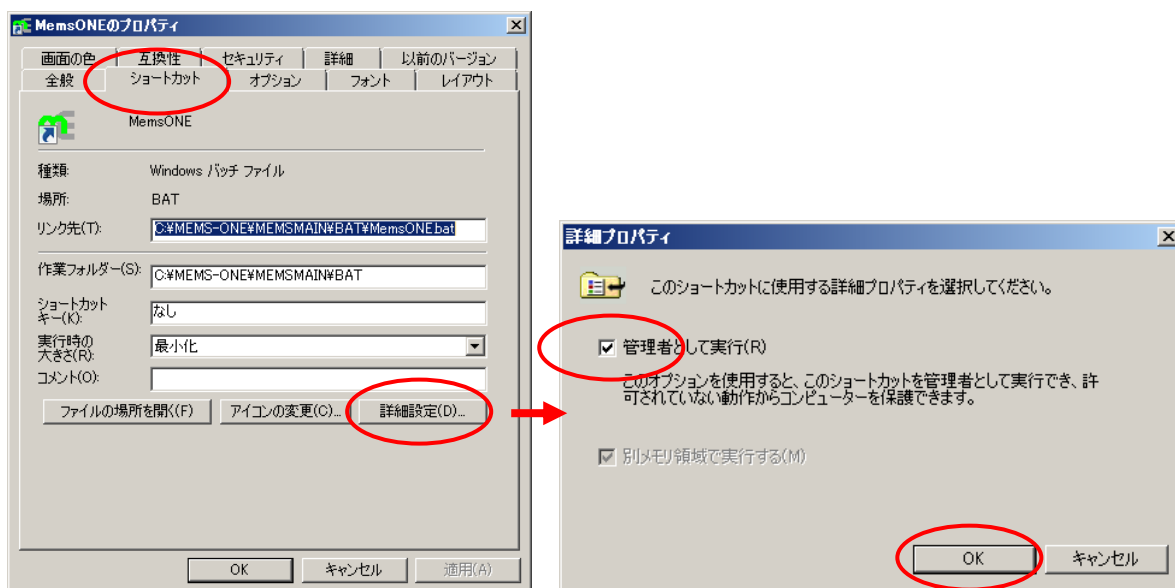


④ 8 の場合の追加設定

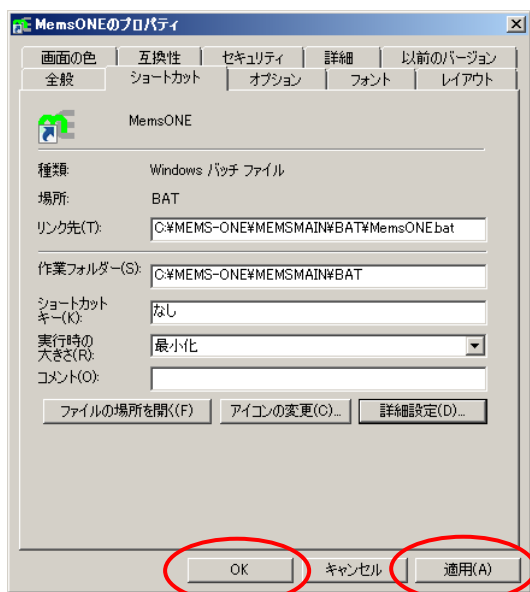
8 の UAC 設定で「通知しない」に設定しても、7 と同等の設定とならないため、次の設定を追加します。

この設定はインストールが完了し、デスクトップに MemsONE アイコンが表示されている状態で設定します。手順は以下の通りです。

- デスクトップの MemsONE アイコン（ショートカット）のプロパティを開く
（アイコンにカーソルを当て、右ボタンでプルダウンメニューからプロパティを選択）
- 「ショートカット」タブの「詳細設定」を開き、「管理者として実行」にチェックを入れ「OK」を押す



- プロパティのダイアログに戻り、「適用」→「OK」を押す



- 以上の設定で、MemsONE は管理者として実行されます。

1. 4 MemsONE 導入に先立つ事前確認作業

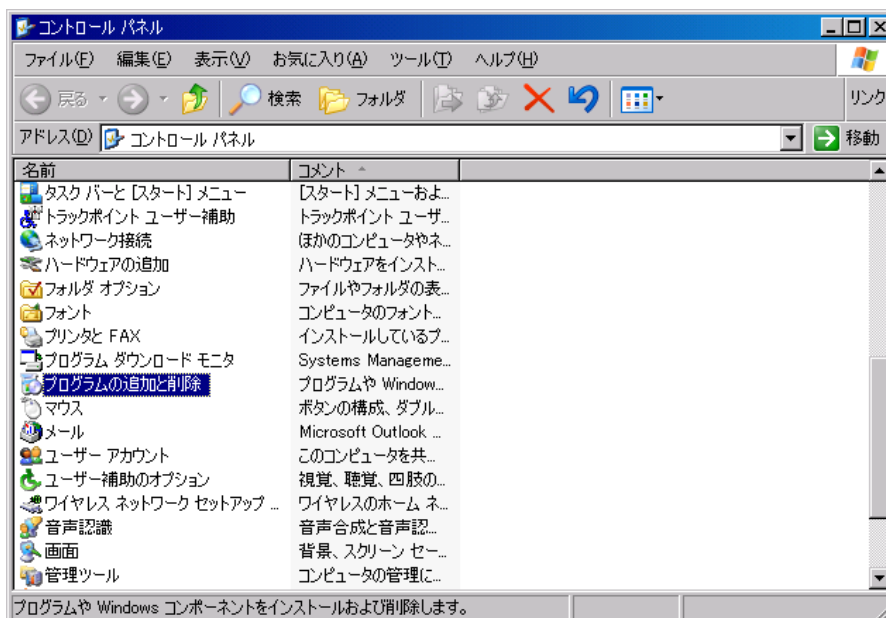
1. 4. 1 同時導入ソフトの確認

外部導入ソフトとして、Java JRE1.5.0_13、MySQL Server5.0、.NET Framework 2.0 以上を使用します。

インストールに先立ち、PC に外部導入ソフトが導入済みか否かを確認してください。

確認方法は、「コントロールパネル」から、「プログラムの追加と削除」を選択します。

下記は、コントロールパネル画面例 (XP の場合) です。



「プログラムの追加と削除」の選択後に表示されるプログラム一覧に該当ソフトが登録されていれば、導入済みです。

下記は、プログラムの追加と削除におけるインストール済のプログラム一覧画面例です。



プログラム一覧表における外部導入ソフトの正確なプログラム名称は、後述「4. 2 MemsONE 導入による実行環境 (1) 導入ソフト」を参照願います。

外部導入ソフトが導入済みの場合、該当ソフトは 2 章以降のインストール操作において、スキップ指示をしてください。

1. 4. 2 確認結果の取り纏めと導入対応の一覧表

前項での確認結果により、以降のアンインストール又はインストール操作を確認してください。

(—：何もしない)

確認対象ソフト	確認結果	インストール操作に先立つアンインストール操作	インストール操作	備考
.NET Framework 2.0 以上	有	—	—	
	無	—	インストールします	
Java JRE 1.5.0_13	有	—	—	Java の他バージョンとは同居します
	無	—	インストールします	
MySQL Server5.0	有	—	—	管理者用のパスワードの確認をしてください
	無	—	インストールします	MySQL の他バージョンとは同居します
MemsONE	有	アンインストールします。	インストールします	
	無	—	インストールします	

1. 4. 3 OSの種類に対するインストーラの対応

インストールの対象となる OS の種類は、32bit (XP/vista/7/8)、64bit (vista/7/8) の7種類ありますが、インストールソフトとしては共通です。

2. DVD メディアによるインストール操作手順

2. 1 Microsoft .NET Framework 2.0 が未導入の場合のインストール

Microsoft .NET Framework は、通常、vista、7、8 では 3.0 以上が初期導入され、XP の場合でも、Microsoft .NET Framework 2.0 は、Windows Update で自動導入されることもあり、多くの Windows 環境では既に導入されています。本手順は、XP の 32bitOS 環境で、.NET Framework 2.0 が、未導入の場合の、導入手順を説明します。

(1) Microsoft .NET Framework 2.0 インストーラ起動

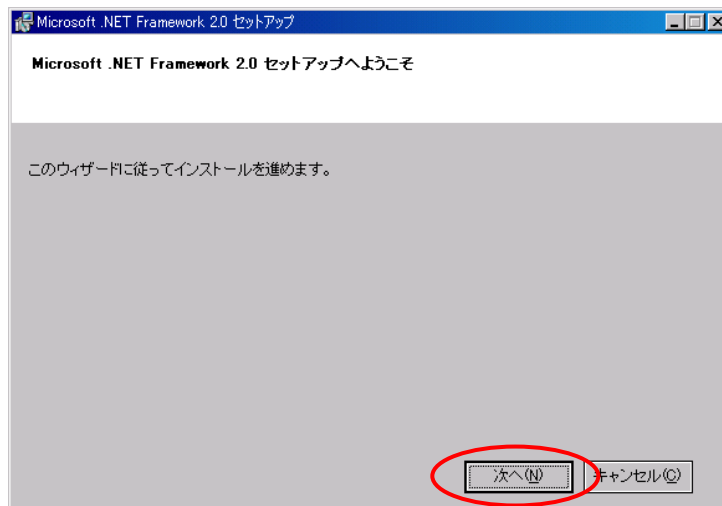
DVD メディア内の「インストール用ソフト」→files フォルダ内に存在する

files¥netframework2¥dotnetfx.exe

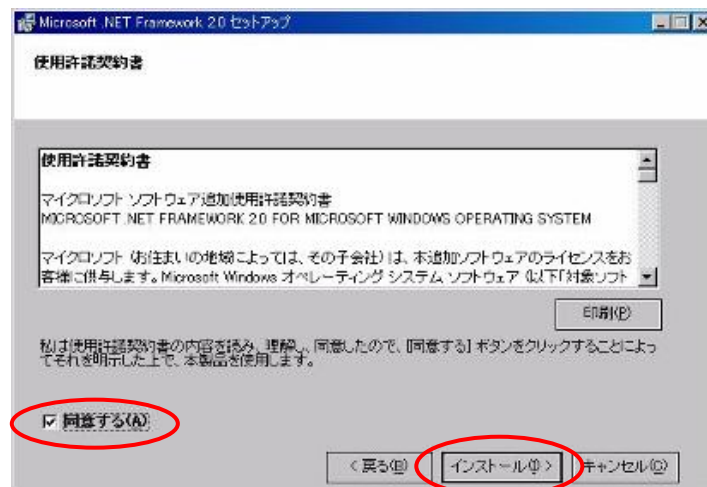
をダブルクリックしてください。インストールが始まります。

注) DVD メディア内の.NET Framework 2.0 インストーラは、32bitOS 用です。

(2) 初期画面

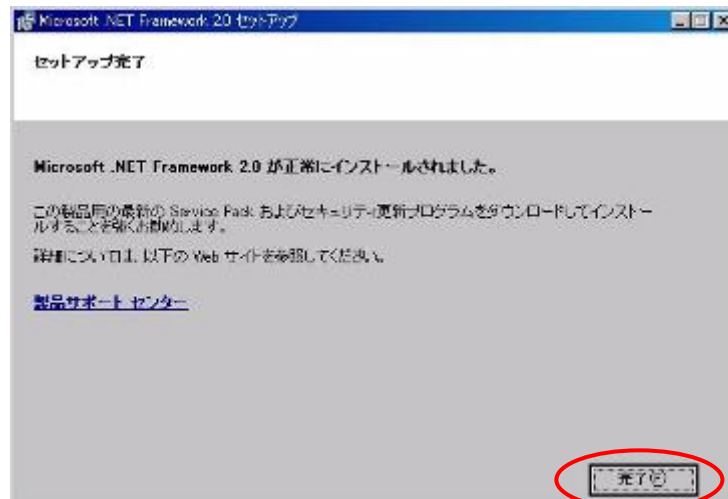


(3) 使用許諾契約、インストール開始。



インストールには数分かかります。

(4) インストール終了



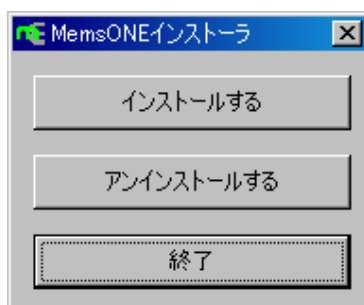
PC の再起動を行ってください。

なお、Microsoft .NET Framework は、Windows 環境における基盤ソフトに近い位置づけであり、多くのソフトで利用されることから、ひとたびインストールした後は、原則としてアンインストールは行わない方針とします。

(アンインストールする場合は、コントロールパネルの「プログラムの追加と削除」の一覧表から削除を行ってください)

2. 2 インストール初期画面の起動

DVD メディア内の「インストール用ソフト」フォルダにある「MemsOneStart.exe」をダブルクリックすると、次の MemsONE インストール／アンインストール画面が表示されます。この画面でインストールの種類を選択してください。それぞれの処理は以下の通りです。



- 「インストールする」

MemsONE に関連するプログラムをインストールする画面が表示されます。

- 「アンインストールする」

MemsONE に関連するプログラムをアンインストールする画面が表示されます。

アンインストールは原則として、導入時に使用した DVD メディアのアンインストール機能を使用してください。

導入時に使用した DVD メディアが存在しない場合は、「コントロールパネル」の「プログラムの追加と削除」により、該当ソフトを削除してください。

- 「終了」

インストール画面を閉じます。

「インストールする」 ボタンを押下すると次の画面が表示されます。

画面の指示に従い、インストールを行ってください。



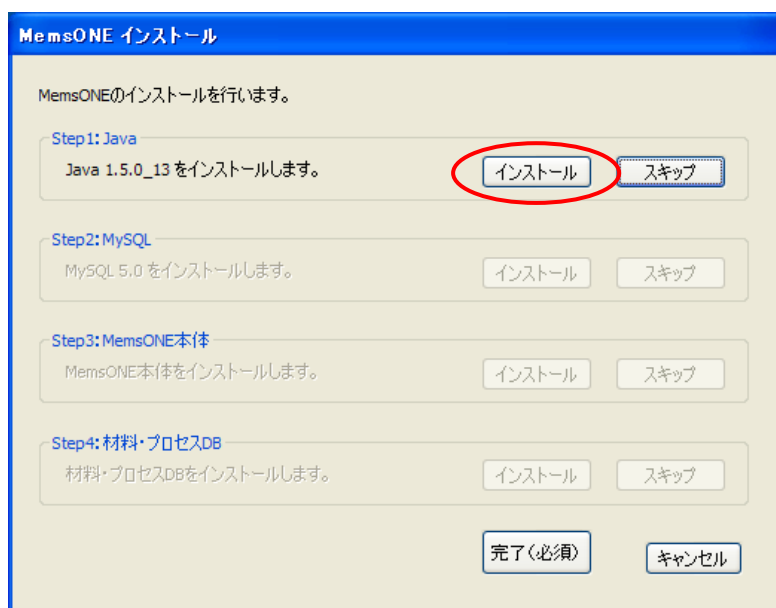
最後の「完了(必須)」は必須です。必ず実行してください。

次節以降、プロセス毎の操作手順を説明します。

2. 3 Java (JRE1.5.0_13) のインストール

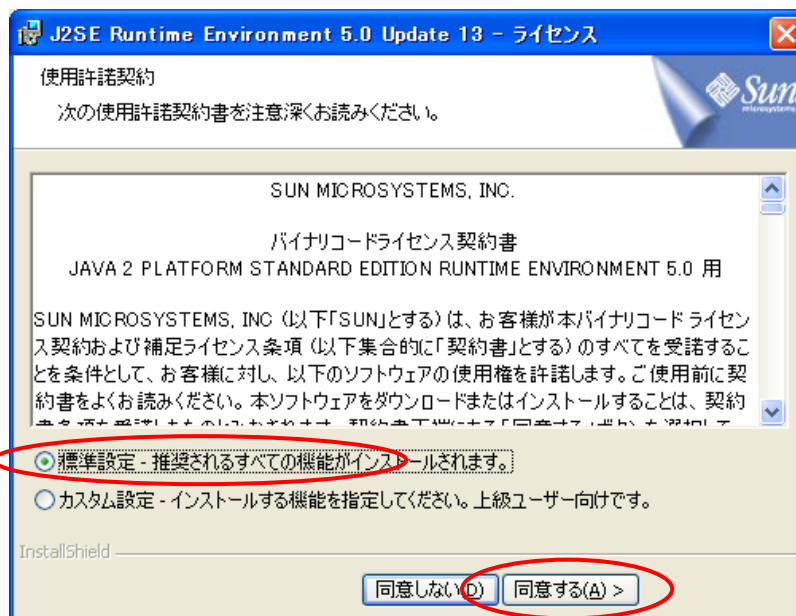
(0) プロセス選択画面

プロセス選択画面で該当プロセスのインストールを実行します。(2.4節以降のプロセスも同様)



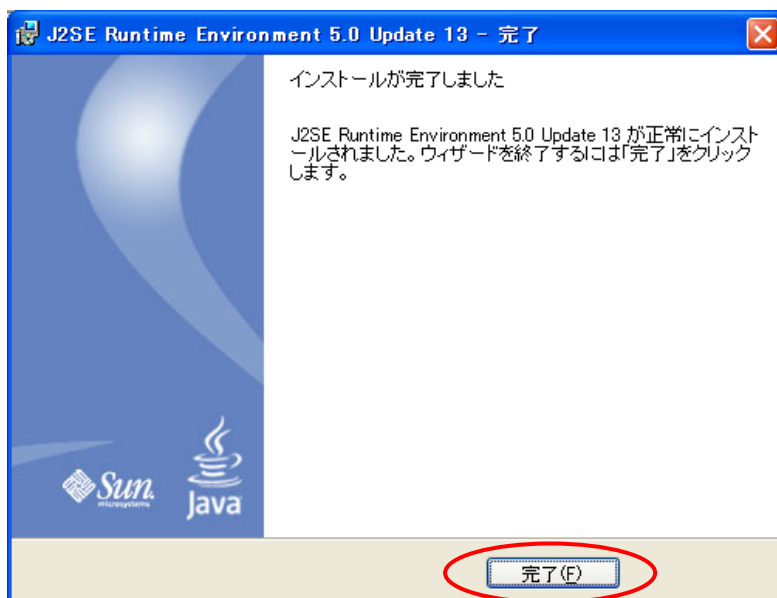
「インストール」ボタンを押下すると、Java のインストールが始まります。

(1) 使用許諾契約



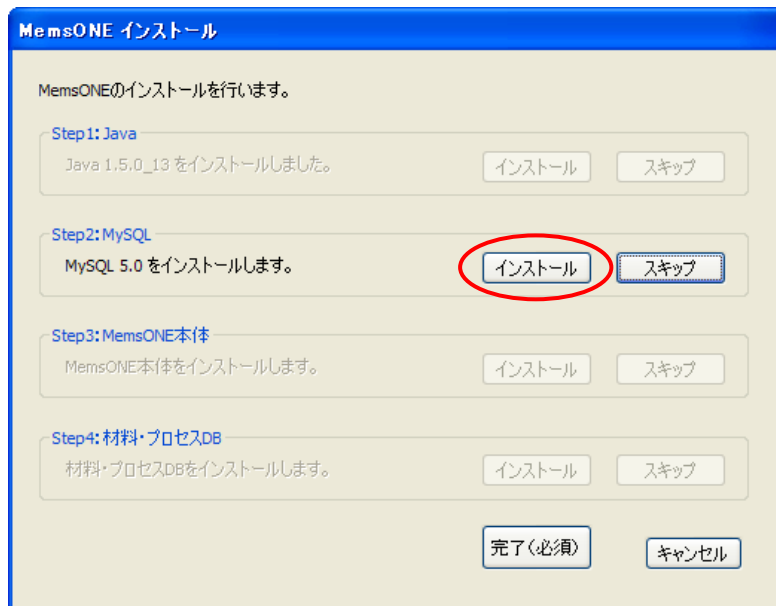
ここでは、必ず、「標準設定・・・」を選択してください (Cドライブにインストール)。

(2) 完了



2. 4 MySQL Server5.0 のインストール

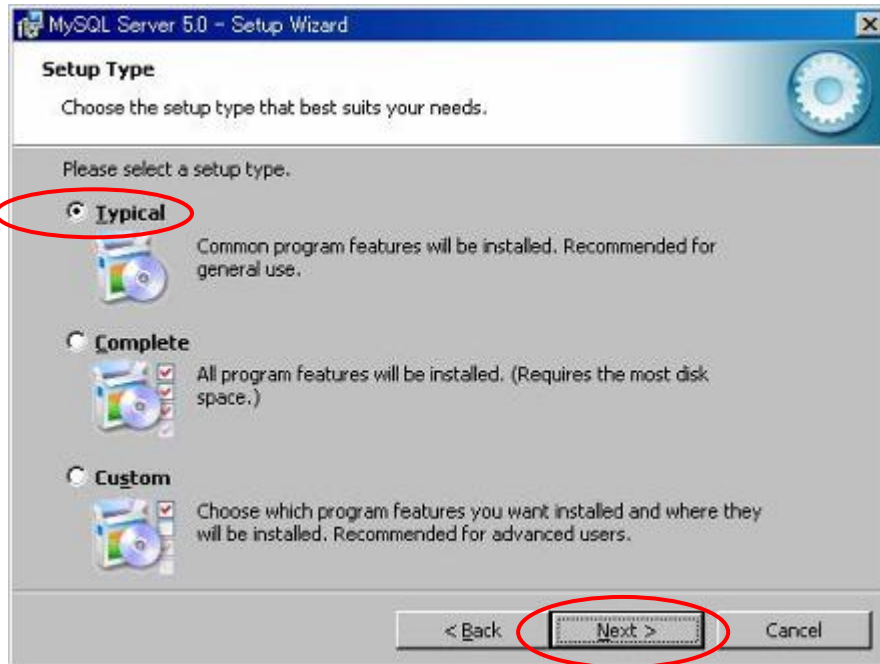
(0) プロセス選択画面



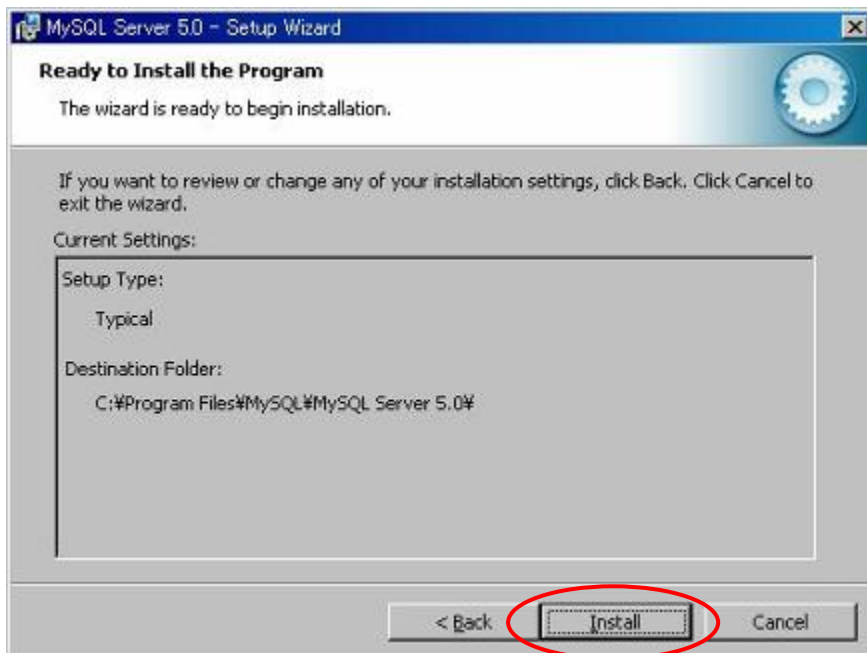
(1) MySQL のインストールを行います。



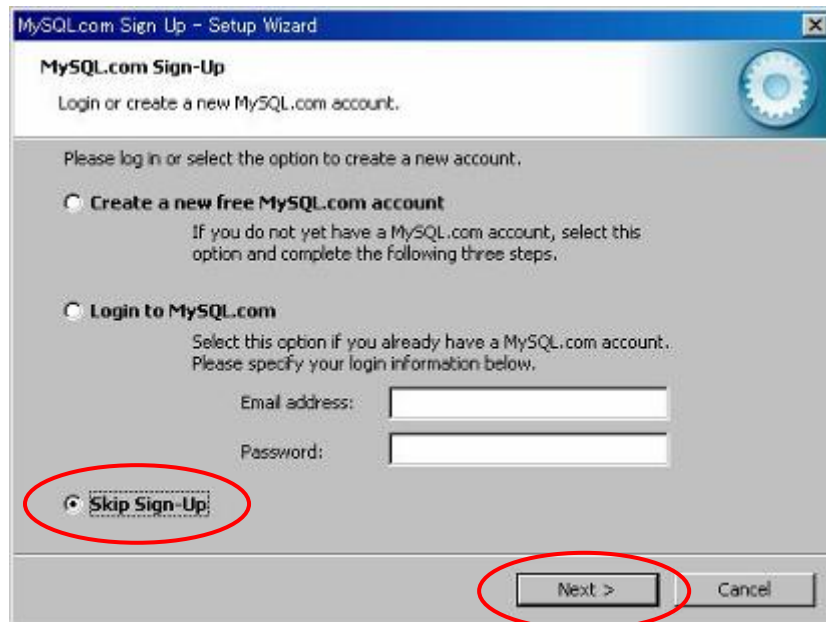
(2) 「Typical」 を選択



(3) 「Install」 ボタンをクリックしてください。



(4) 「Skip Sign-Up」 を選択



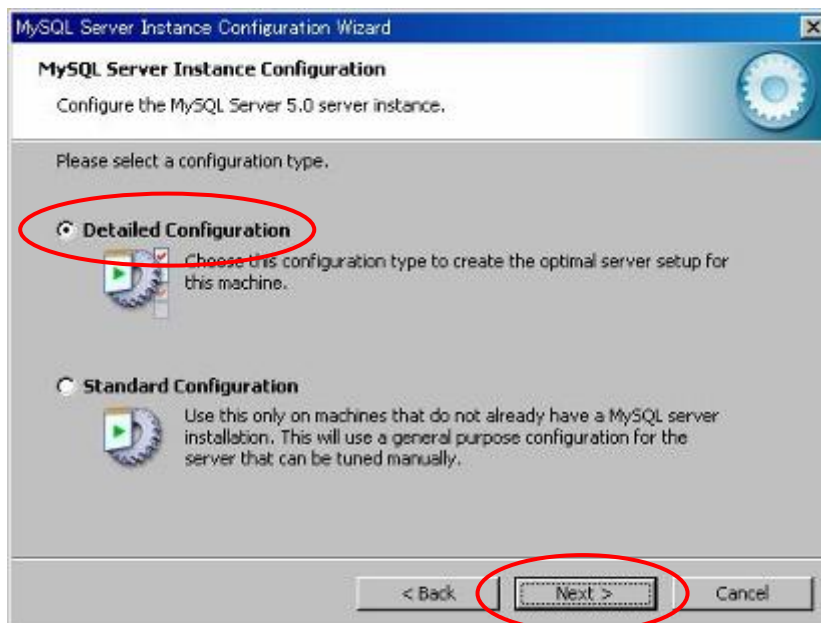
(5) インストール終了です。引き続きサーバの設定を行います。「Configure the MySQL Server now」を選択し、「Finish」ボタンをクリックします。



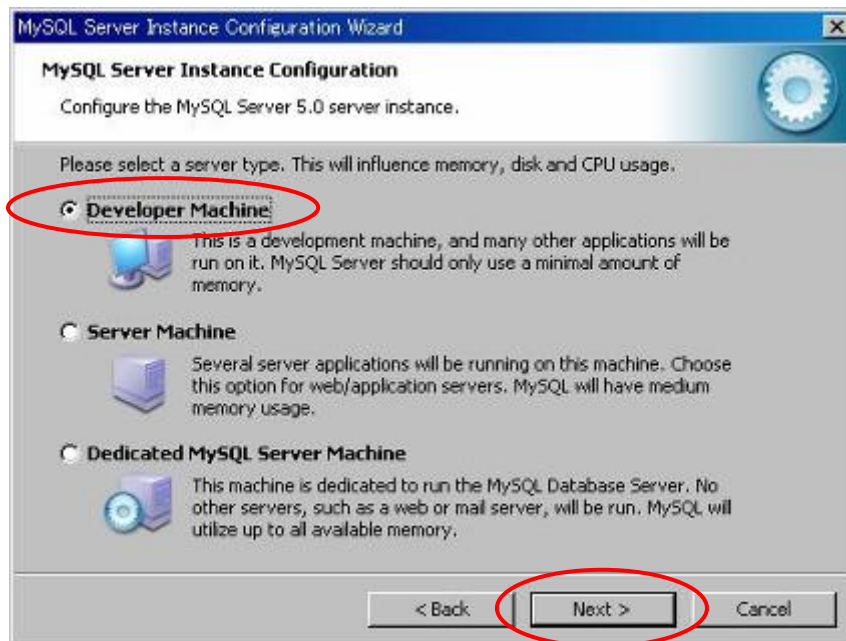
(6) サーバの設定を行います。



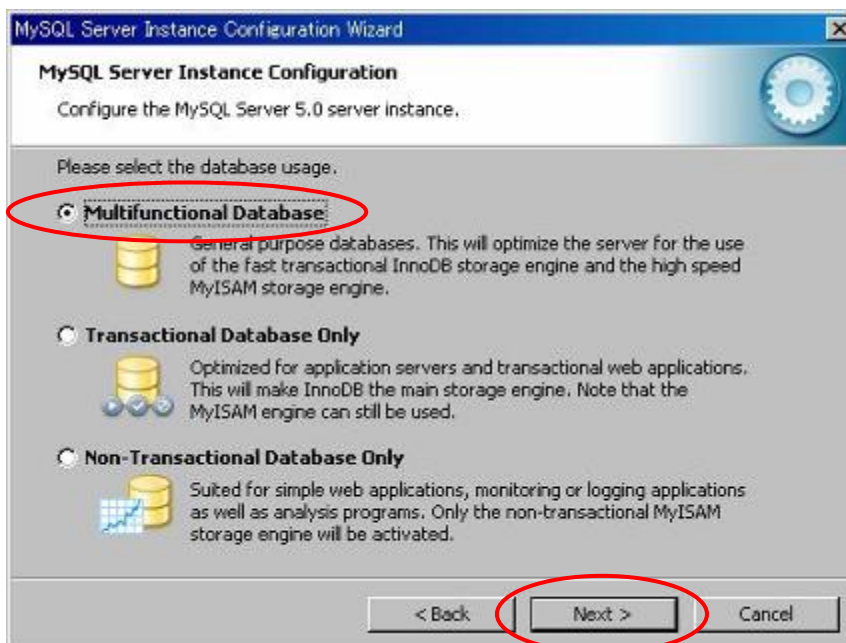
(7) 「Detailed Configuration」を選択



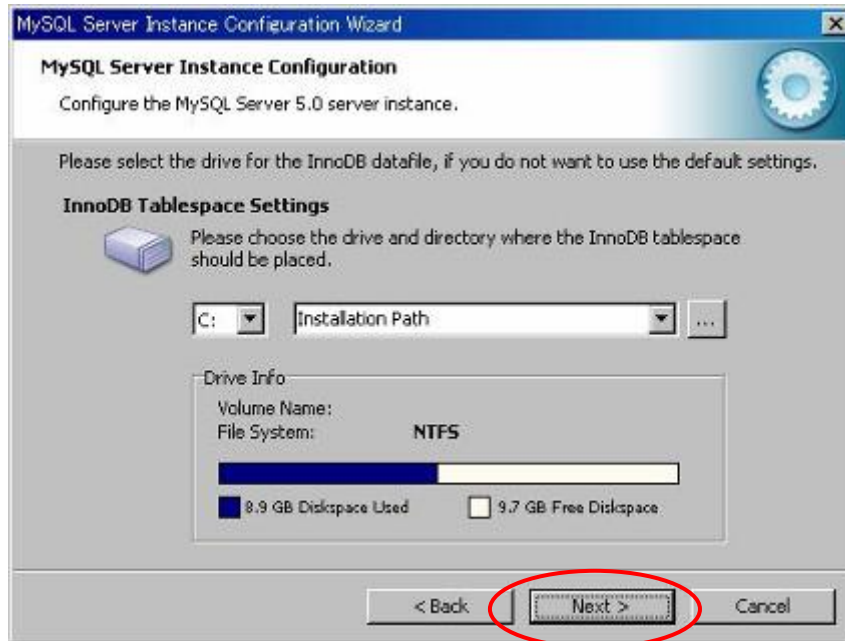
(8) 「Developer Machine」 を選択



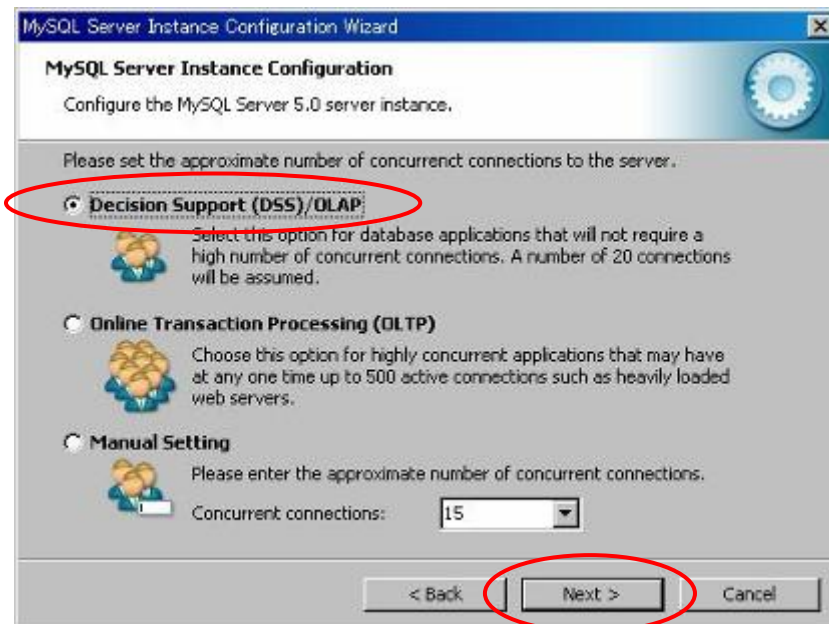
(9) 「Multifunctional Database」 を選択



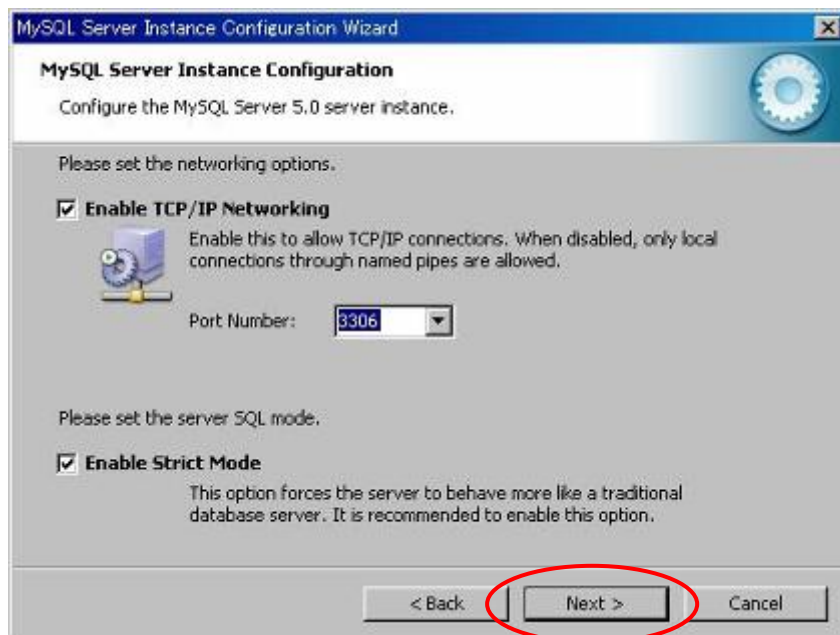
(10) 以下のようにになっていることを確認し、「Next」ボタンをクリックします。空欄で、「Modify」ボタンが表示されている場合は、「Modify」ボタンをクリックします。



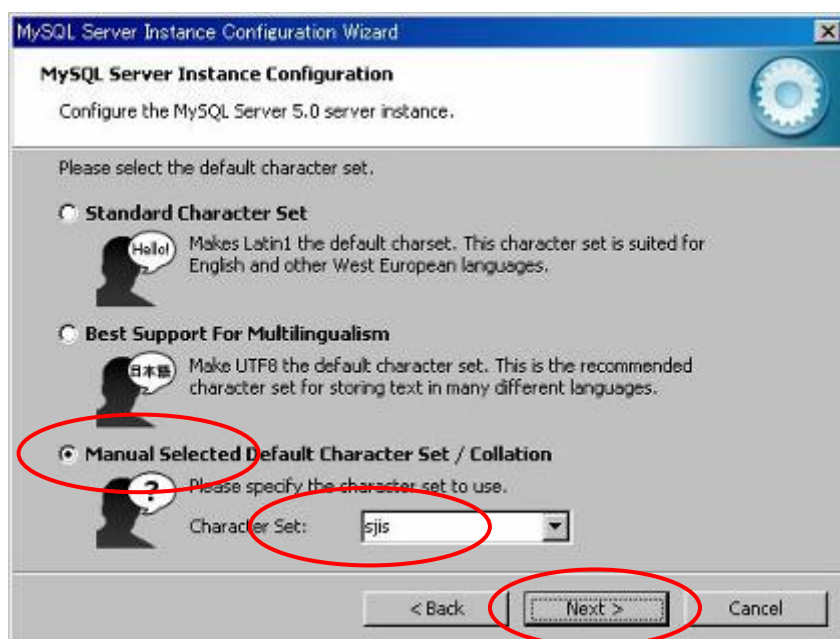
(11) 「Decision Support (DSS)/OLAP」を選択



(12)以下の画面のようにになっていることを確認し、「Next」ボタンをクリックします。



(13)以下のように「Manual Selected Default Character Set / Collation」を選択し、「Character Set」を「sjis」に変更します。



(14) 以下のように、「Include Bin Directory in Windows PATH」を選択

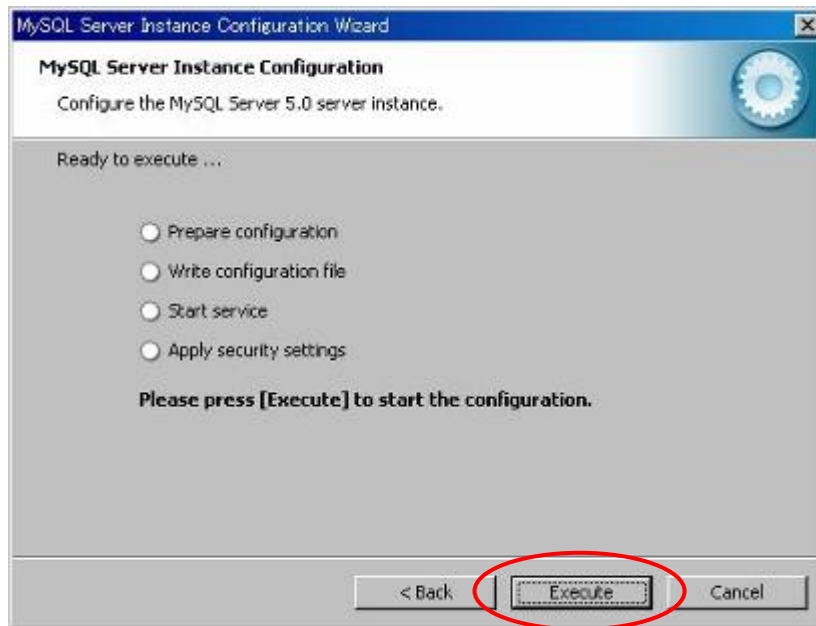


(15) 「New root password」を入力します。このパスワードは、材料データベースや知識データベースのインストール時に必要です。**重要なパスワードですので、忘れないようにしてください。**また、「Create An Anonymous Account」はチェックしないでください。

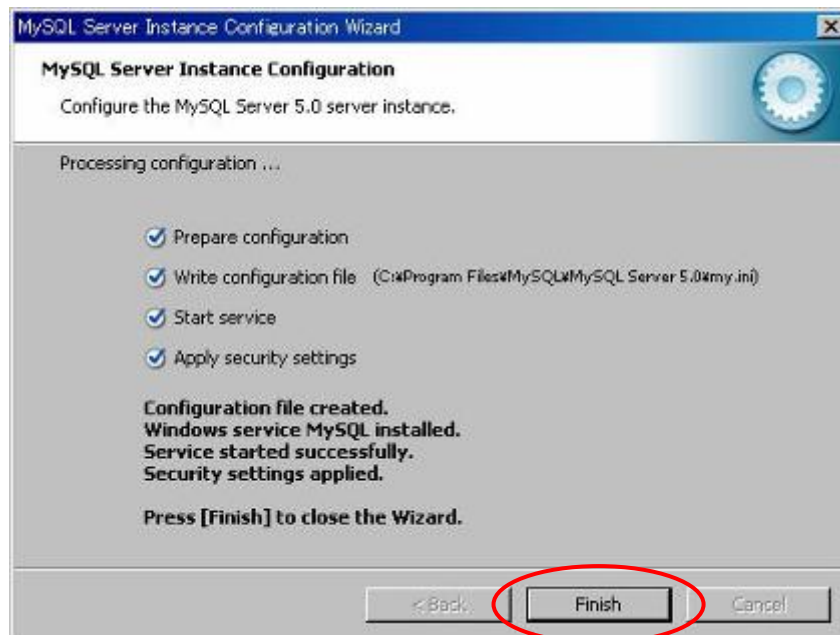


注1) このパスワードは自由ですが、忘れた場合を考え、本書通り「mems」とする方が無難です。

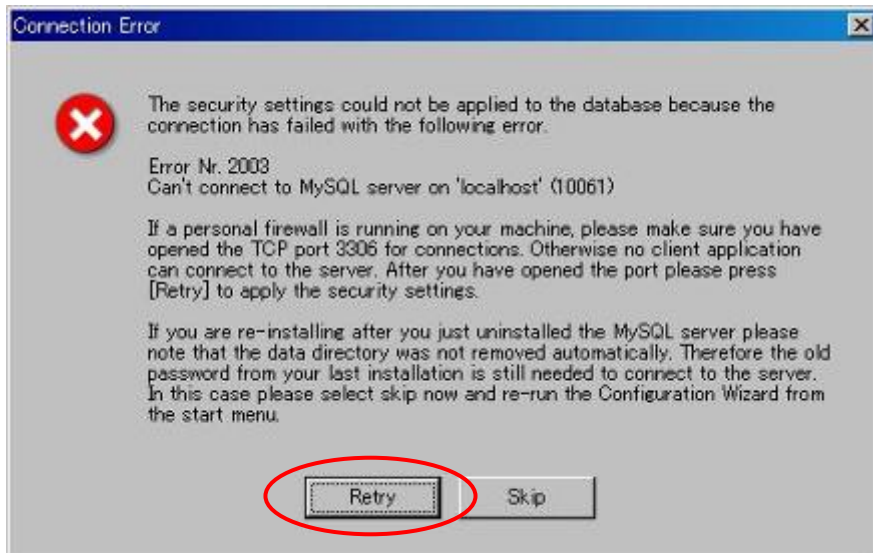
(16) 「Execute」 ボタンをクリックし、設定を反映します。



(17) サーバの設定完了



注1) (17) サーバの設定完了画面の前に、下記のメッセージが表示された場合、「Retry」ボタンを押下します。



注2) 上記、「Retry」ボタンが効かない場合は、Skip 指示により以降の作業を終了し、以下の手順を踏んでください。

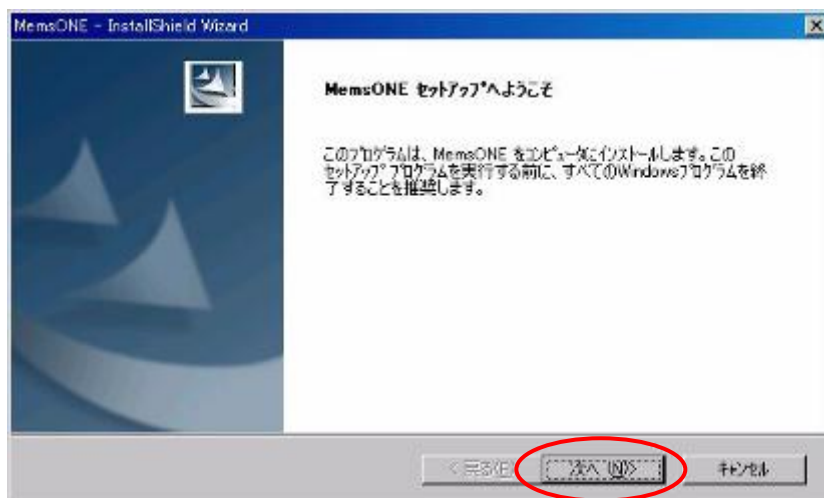
- ①タスクマネージャのプロセス一覧にて、プロセス名「mysqld-nt.exe」が動いているか否かを確認して、動いていたら、プロセスを終了してください。(終了するプロセス名を間違えないように注意)
- ②アンインストール画面を起動し、「Step2:MySQL」および、「完了(必須)」を実行してください。もし、アンインストールができない場合は、サポートセンターにお問合せください。
- ③再び、インストール画面を起動し、MySQL をインストールしてください。

2. 5 MemsONE 本体のインストール

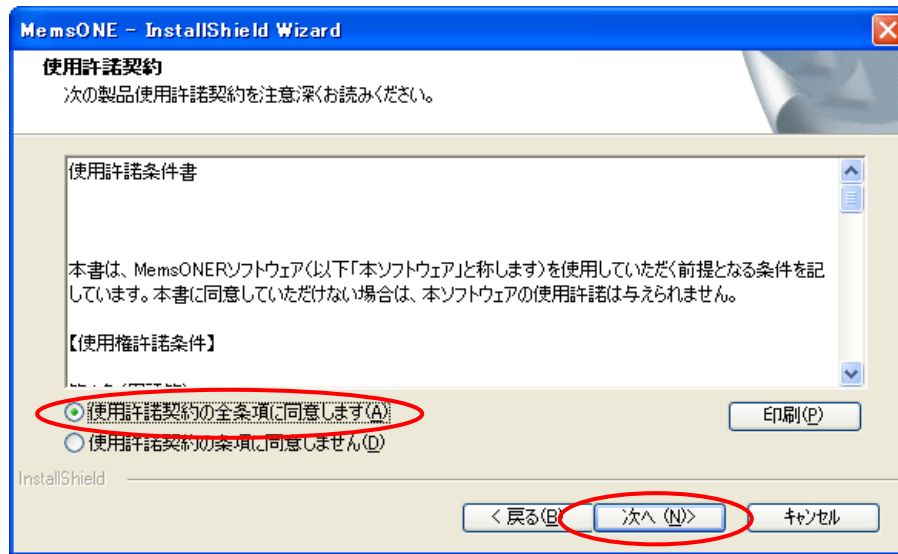
(0) プロセス選択画面



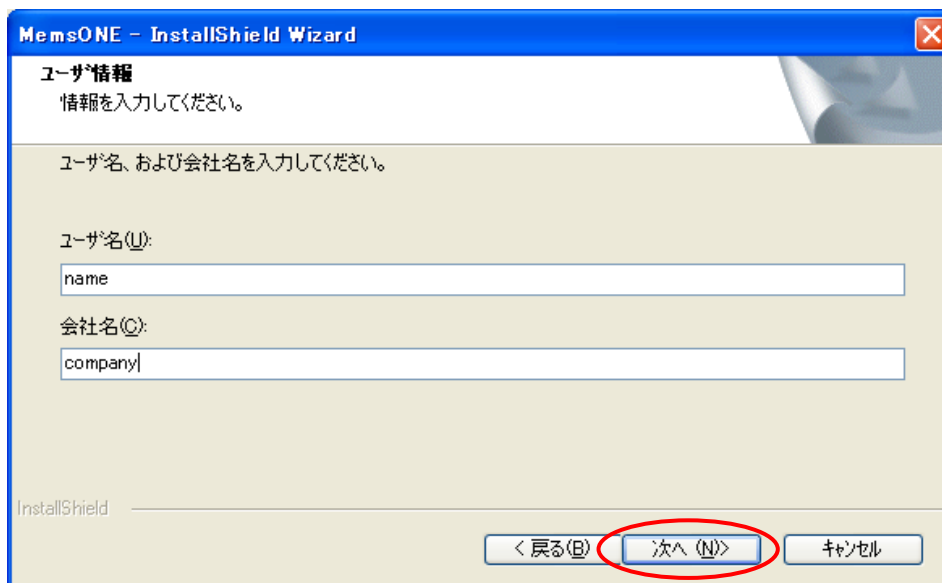
(1) MemsONE のインストールを行います。



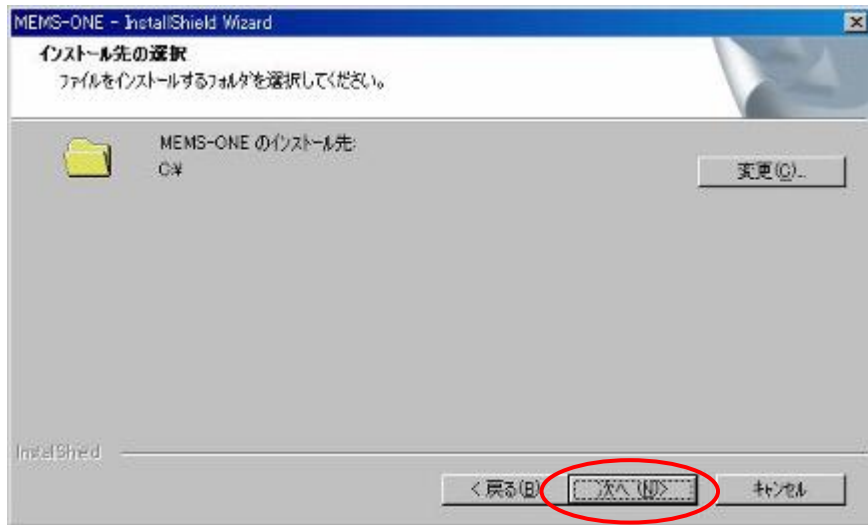
(2) 使用許諾契約



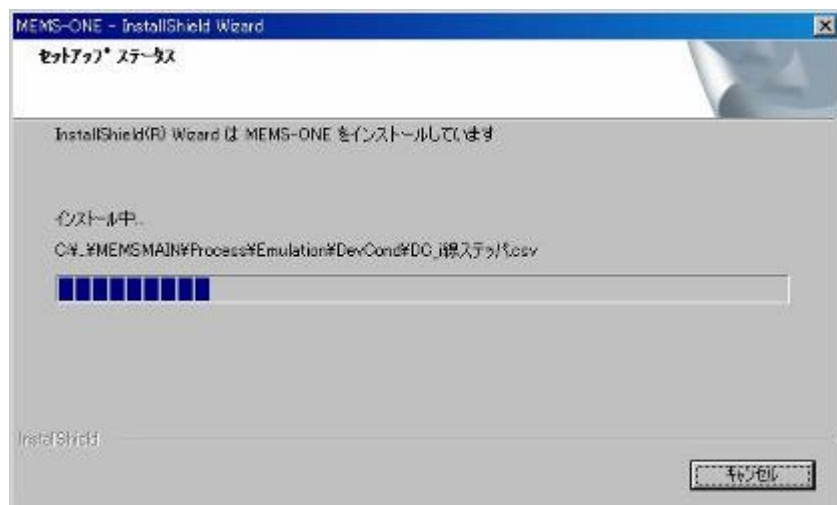
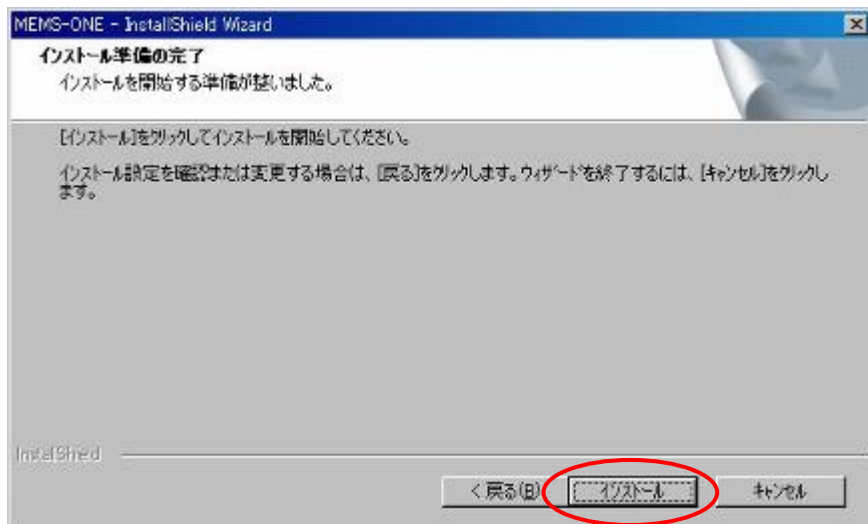
(3) ユーザ情報入力



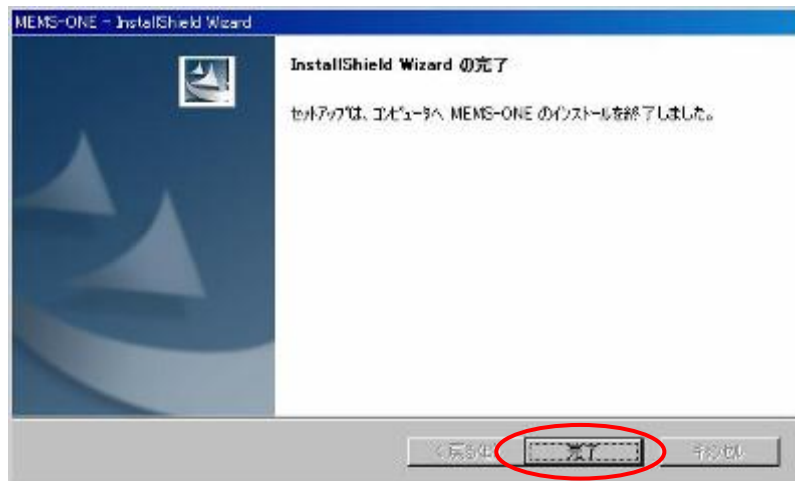
(4) インストール先フォルダ(ドライブのみ)の入力



(5) インストールの確認、開始



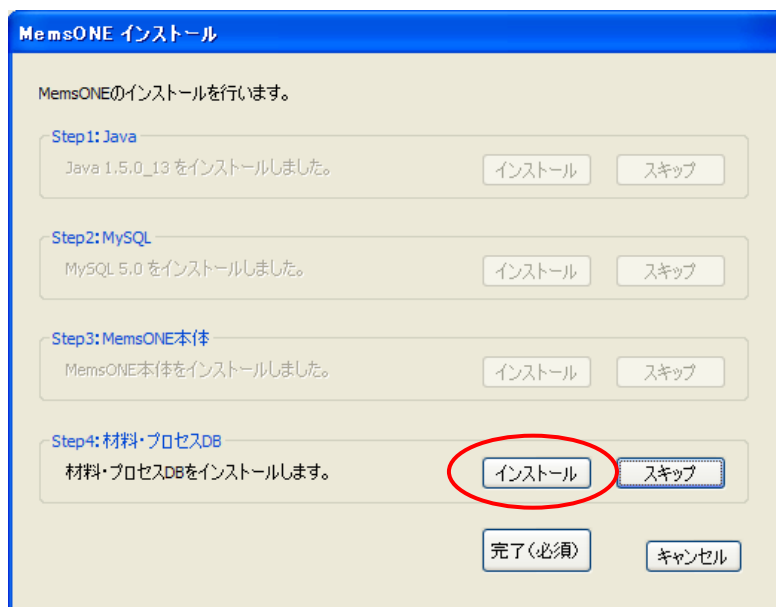
(6) インストール完了



完了の指示後、次ページのプロセス選択画面が表示されるまで、必ず、待ってください。

2. 6 材料データベースのインストール

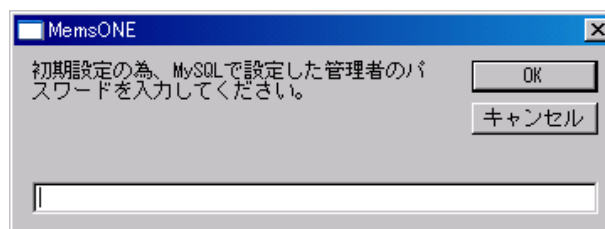
(0) プロセス選択画面



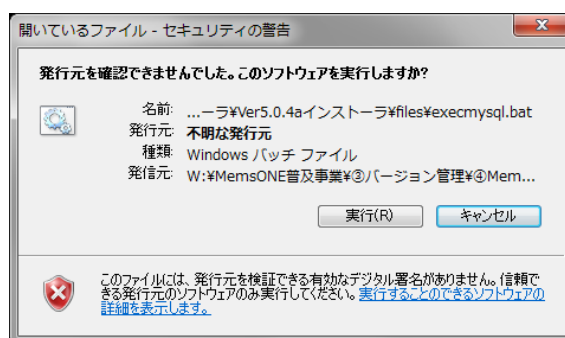
材料データベースのコンテンツ構築を行います。

この処理において、管理者用のパスワードの問い合わせがあります。

2. 4 MySQL (1 5) で入力したパスワード「mems」を入力してください。



注) 材料データベースのインストール途中で、下記の画面が表示された場合は、「実行(R)」をクリックしてください。



(2) 正常終了の確認画面



2. 7 完了の実行

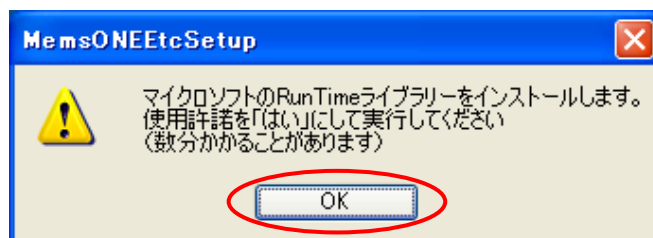
(0) プロセス選択画面



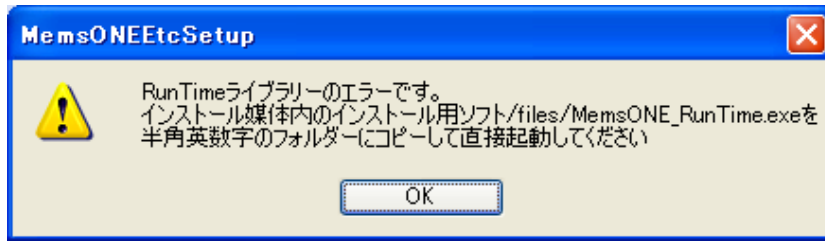
MemsONE 実行環境の整備を行います。原則的に必須ですので、必ず実行してください。

(1) RunTime ライブラリーのインストール操作

下記のダイアログが表示され、CAD 実行用のマイクロソフト社 RunTime ライブラリーがインストールされます (初回のみで、2 回目以降のインストールでは自動スキップされます)。



<<注意1>> 下記のエラーメッセージが表示された場合



インストール終了後、DVD メディア内の「インストール用ソフト¥files¥MemsONE_RunTime.exe」を半角英数字名のフォルダ（例：C:¥TEMP）にコピーして、直接ダブルクリックしてください。

（本手作業でインストールした場合は、2 回目以降のインストール時にも同様のメッセージが表示されますが、無視してください）

<<注意2>> MemsONE を導入した PC のユーザーアカウント名に全角文字が含まれている場合、下記のようなエラーが発生し、RunTime ライブラリーが正常に導入されない場合があります。

- インストールの「完了(必須)」実行のあと、「コマンドラインオプションの構文エラーです・・・」あるいは、
- メイン画面からのデバイス CAD またはマスク CAD の起動時に、「アプリケーションを正しく初期化できませんでした (0xc0150002)」「不明なエラーが発生しました。[外部プログラム通信 [ID:3-102-6] (KEY:"外部プログラム通信 6")]]」

<<注意2の対処方法>> : 以下の 1) ~ 4) を順に行ってください。

1) 次の①②のいずれかの対応を行ってください。

①環境変数 TEMP, TMP の値を半角文字に変更

「コントロールパネル」→「システム」→「詳細設定」→「環境変数」から、**ユーザー環境変数**の中の TEMP および TMP の値を（例えば）両方ともに、C:¥TEMP に変更。

（このフォルダが存在しない場合は、新規に作成しておいてください）

②ユーザーアカウント名の変更

「コントロールパネル」→「ユーザーアカウント」→「アカウントの選択」→「名前の変更」から半角の英数字に変更

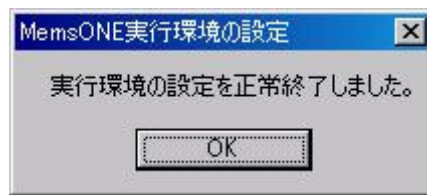
2) ①②の変更後は、いずれの場合も、PC を再起動。

3) MemsONE の導入フォルダー（ドライブ名：¥MEMS-ONE¥MEMSSYS）の中に、MemsONE_RunCheck.txt が存在していれば、削除（存在しなければ、何もしない）。

4) MemsONE V6.0 の DVD メディアから、インストールを実行し、Step1 (Java) ~ Step4 (材料・プロセス DB) はすべて skip し、「完了(必須)」を実行。

→この処理の終了後、MemsONE を起動して動作確認。

(2) 終了の確認画面



(3) 再起動

DVD メディアを取り出し、PC を再起動してください。

以上で、MemsONE の DVD メディアによるインストールが終了です。

再起動の後、ライセンス登録により、MemsONE の実行が可能となります。

注1) 終了画面で、「**実行環境の設定を警告終了しました**」が表示された場合は、MemsONE が正常に動作しない可能性があります。

特に、「完了(必須)」の実行において、以下のメッセージが出力された場合は、それぞれの環境変数 (MemsONE_HOME、JAVA_HOME、CLASSPATH) を直接、設定してください。

- ・「システム環境変数「MemsONE_HOME = (ドライブ名) :¥MEMS-ONE」の書込権限がありません。コントロールパネルから設定してください。」
- ・「システム環境変数「JAVA_HOME=C:¥Program Files¥Java¥jre1.5.0_13」の書込権限がありません。コントロールパネルから設定してください。」
- ・「システム環境変数「CLASSPATH=. (dot)」の書込権限がありません。コントロールパネルから設定してください。」

なお、環境変数の直接設定は、コントロールパネルから、システム/詳細設定/環境変数/のあと、システム環境変数に「新規」または、「編集」(すでに変数名が登録済みの場合)にて設定してください。

3. ライセンス登録

ライセンス登録は、MemsONE を初期登録または追加登録（ライセンス許諾商品の追加や有効期間の更新）する場合に必要です。

バージョンアップ版による更新では、原則として、ライセンスの再登録は不要です。詳細は、バージョンアップ版にある MemsONE リリースノートを参照ください。

補足) V5.0 のライセンスは、そのまま V6.0 に引き継がれます。

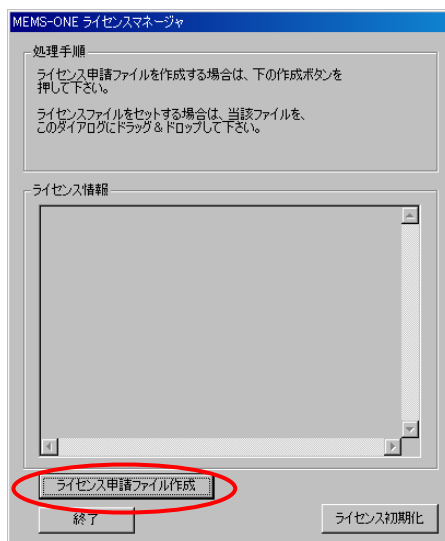
ライセンス登録は

- (1) ユーザ情報ファイルの作成
- (2) ライセンスファイルの取得
- (3) ライセンスファイルの実行環境への登録

の3手順を踏みます。

3. 1 ユーザ情報ファイルの作成

デスクトップ上の「licensetool」ショートカットアイコンをダブルクリックします。



「ライセンス申請ファイル作成」ボタン押下により、ユーザ情報ファイル(user_info)が指定されたフォルダに作成されます。

注) 「ライセンス初期化」ボタンは、原則として使用しないでください。このボタン押下により、PCのライセンス情報が全てクリアされます。

3. 2 ライセンスキーファイルの取得

ユーザ情報ファイルをメール添付にて、ライセンス発行部署（★）にライセンスキー取得依頼の旨のメッセージと共に、送付してください。

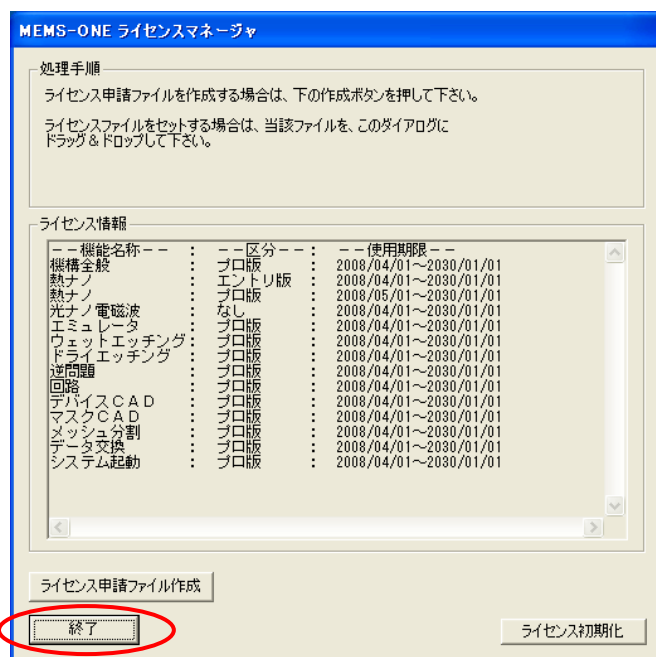
ライセンス発行部署より、ライセンスファイル(license_info)が返送されます。

（★）企業ユーザは購入したソフトベンダー。アカデミックユーザは(財)マイクロマシンセンター

3. 3 ライセンスファイルの実行環境への登録

デスクトップ上の「licensetool」ショートカットアイコンをダブルクリックで表示される画面（ユーザ情報ファイルの作成画面と同じ）に、ライセンス発行部署より送付されたライセンスファイル(license_info)をドロップイン（ドラッグイン）してください。

ドロップインにより、次図の様な画面となり、ライセンス登録が完了します。



注1) 「ライセンス初期化」ボタンは、使用しないでください。

「終了」ボタンを押下すると、この画面を終了します。
これで、実行可能な環境となりました。

注2) ライセンス登録後の動作確認で正常に動作しない場合は、インストールログファイル (C:\TEMP\MemsoneInstall.log) を添付して、販売・頒布元にメール問い合わせてください。

4. MemsONE の実行

4. 1 MemsONE の起動方法

MemsONE の起動は、

- ①スタートメニュー／全てのプログラムから、「MemsONE/MemsONE」を選択
 - ②デスクトップのショートカットアイコンのクリック
- のいずれの指示でも可能です。

4. 2 MemsONE 導入による実行環境

MemsONE の導入により、PC 内の実行環境として次のファイル構造・環境が設定されます。

(1) 導入ソフト

導入されたソフト (Windows 上の「プログラム」) およびデータと、それぞれに対応する Windows ファイルシステム上の格納場所は下表のとおりです。

NO	ソフト・データ	WindowsOS 上のプログラム名	対応するフォルダ構造
1	MemsONE 本体	MemsONE	(MemsONE 本体のインストール時に指示したドライブ): ¥MEMS-ONE
2	JAVA	J2SE Runtime Environment 5.0 Update13	C:¥Program Files¥Java¥jre1.5.0_13
3	MySQL	MySQL Server5.0	C:¥Program Files¥MySQL¥MySQL Server 5.0
4	.NET Framework	Microsoft .NET Framework 2.0	C:¥WINDOWS¥Microsoft.NET¥Framework¥v2.0.50727 ¥Microsoft .NET Framework 2.0
5	材料データベース	(データのみ)	C:¥Program Files¥MySQL¥MySQLServer5.0¥data¥ memsmaterial

(2) 実行中の仮想ドライブ (Subst) の設定

MemsONE の起動により、下記の Subst による仮想ドライブ P, Q が設定されます。

```
subst P [ユーザ設定ドライブ (★)] : ¥MEMS-ONE
subst Q [ユーザ設定ドライブ (★)] : ¥MEMS-ONE¥MEMSCAD
```

★) MemsONE 本体ソフトのインストール先として指定した実ドライブです。

また、MemsONE の終了により、原則として (補足) 仮想ドライブの設定が解除されます。

```
subst P: /D
subst Q: /D
```

補足) MemsONE 終了時の CAD 画面 (デバイス CAD, マスク CAD) の終了タイミングによっては、仮想ドライブ P, Q が残ることがあります。(上記 subst 実行又は MemsONE 起動&終了で解除可)

(3) 環境変数の設定

MemsONE の導入により以下の環境変数が設定されます。

環境変数名	ユーザ/システム区分	値	変数を参照するソフト
MemsONE_HOME	システム	C (デフォルト) : %MEMS-ONE	MemsONE 全般
JAVA_HOME	システム	C:%Program Files% Java%jre1.5.0_13 または、 C:%Program Files (x86)% Java%jre1.5.0_13	MZPlatform
CLASSPATH	システム	. (ドット)	MZPlatform
Path	システム	C:%Program Files% MySQL%MySQL Server 5.0%bin または、 C:%Program Files (x86)% MySQL%MySQL Server 5.0%bin	MySQL

5. アンインストールの方法

5. 1 アンインストールの対象プログラム

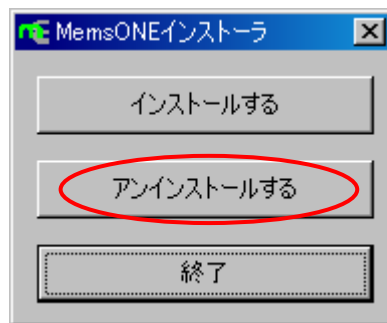
インストールされた下記プログラムのアンインストールは、必ず、インストール時の DVD メディアを使用し、インストーラ「MemsOneStart.exe」を起動してアンインストールしてください。

- MemsONE
- J2SE Runtime Environment 5.0 Update13
- MySQL Server5.0

Microsoft .NET Framework 2.0 のアンインストールは、他のソフトウェアに影響を及ぼす可能性があるので行わないでください。

5. 2 アンインストールプログラム起動

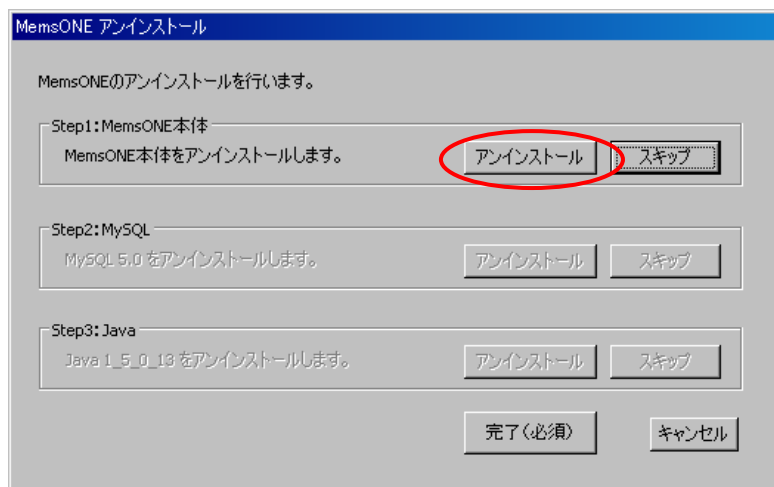
DVD メディア内のインストーラ「MemsOneStart.exe」を起動し、アンインストーラを実行してください。



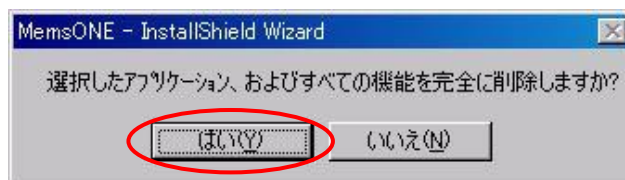
注) アンインストールでは、MemsONE の実行により新規作成されたファイル (MemsUser 以下のユーザ作成ファイルなど) は削除されません。フォルダとともに残り、再インストールにより、使用可能となります。

5. 3 MemsONE 本体のアンインストール

(0) プロセス選択画面

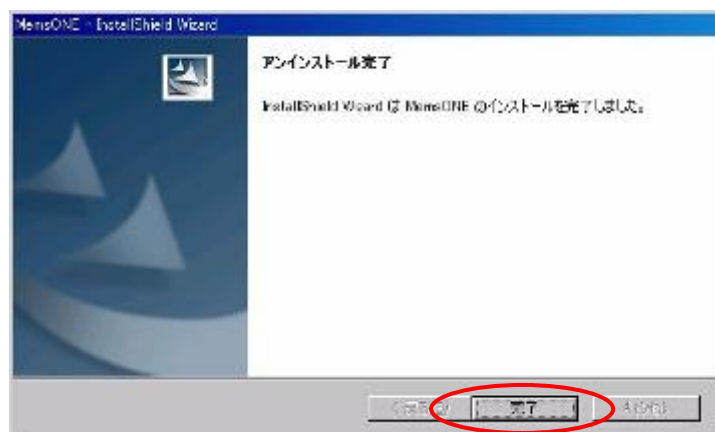


(1) 削除選択画面

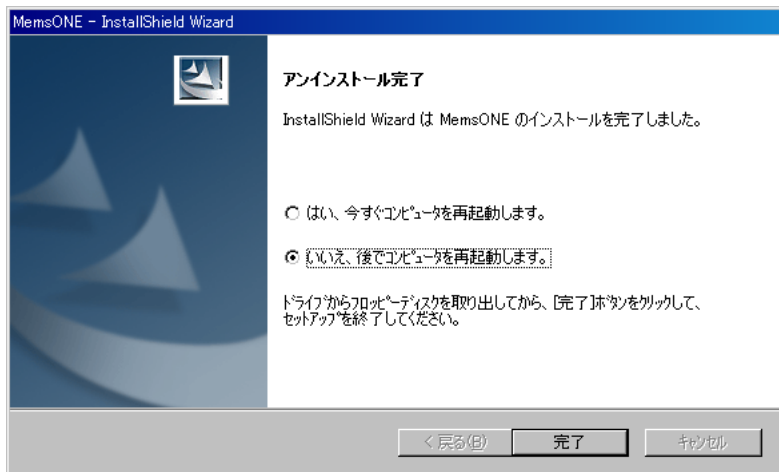


しばらく時間がかかります。

(2) 完了を選択



注) PC 再起動に関する次の画面が表示される場合は、「いいえ」を選択して完了してください。



ここで、間違っ、再起動をした場合は、再度インストーラを起動し、アンインストールの続きを実行してください。

5. 4 MySQL Server5.0 のアンインストール

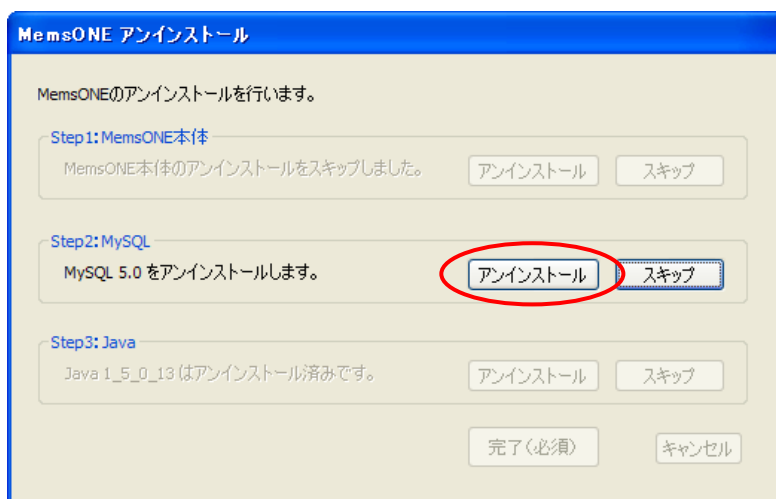
重要) MySQL のアンインストールに先立ち、必ず、下記のいずれかの設定を行ってください。

設定方法 1) タスクマネージャのプロセス一覧にて、プロセス名「mysqld-nt.exe」が動いているか否かを確認して、動いていたら、プロセスを終了してください。(終了するプロセス名を間違えないように注意)

設定方法 2) 「コントロールパネル」から管理ツール/サービスを選択し、プログラム一覧リストのMySQL を選択し、「サービスの停止」を行ってください。

注) MemsONE 関連の別ソフト「知識データベース」が導入されている場合は、本アンインストールに先立って、知識データベースのアンインストールを行ってください。

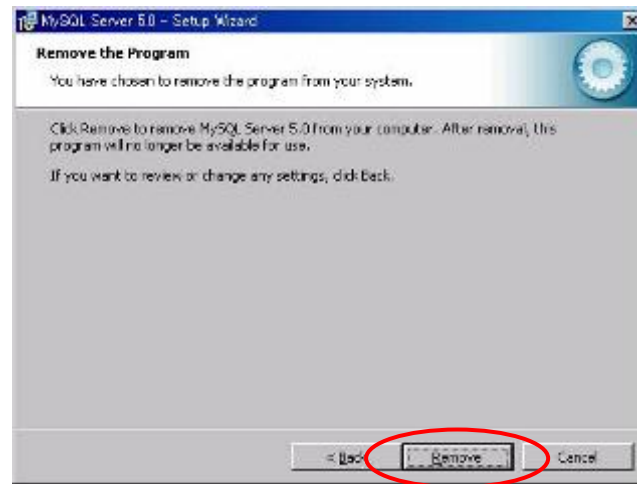
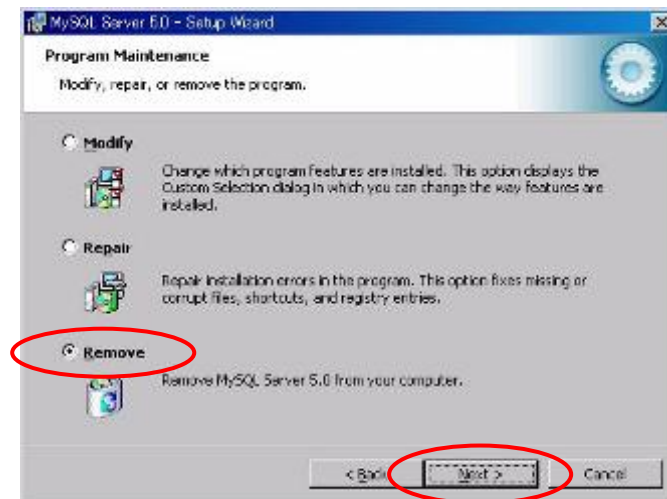
(0) プロセス選択画面



(1) 開始画面



(2) 削除を選択



(3) 「Finish」を選択

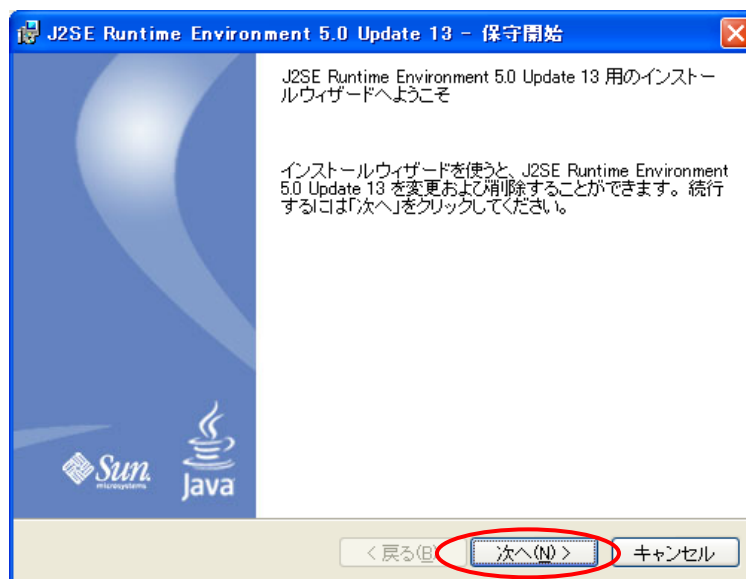


5. 5 Java (JRE1.5.0_13) のアンインストール

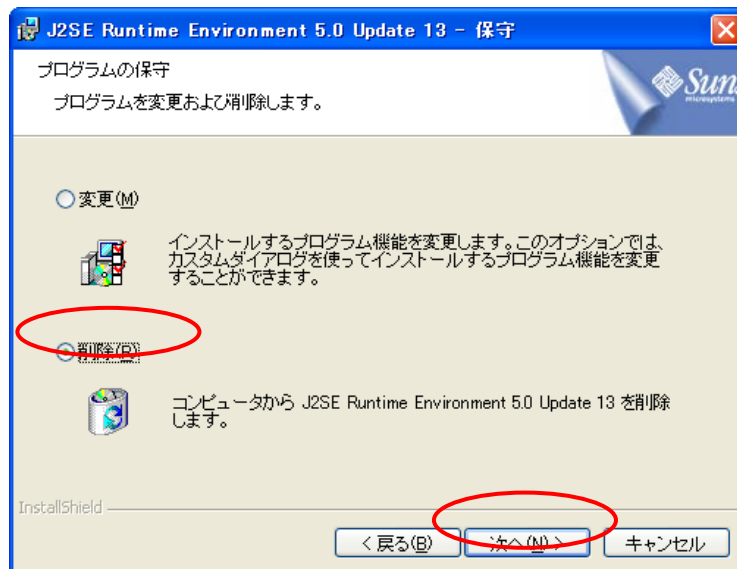
(0) プロセス選択画面



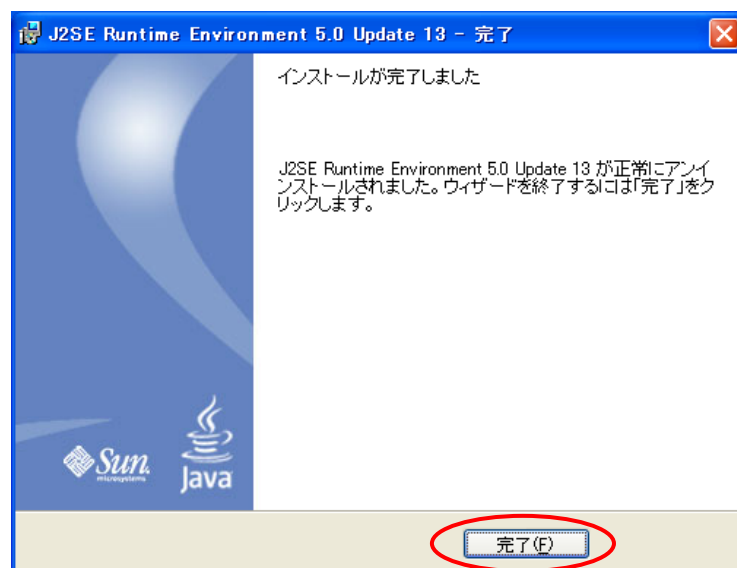
(1) 開始画面



(2) 削除を選択



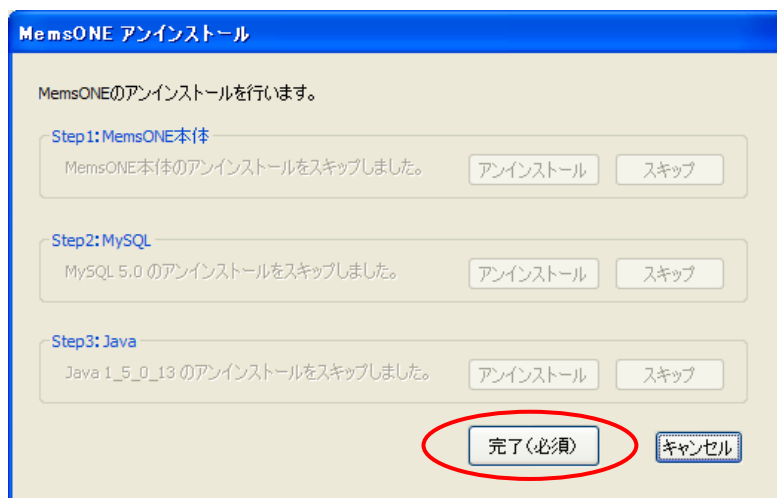
(3) 完了を選択



注) ここで、再起動を行うか否かの画面が表示された場合は、「いいえ」を選択してください。

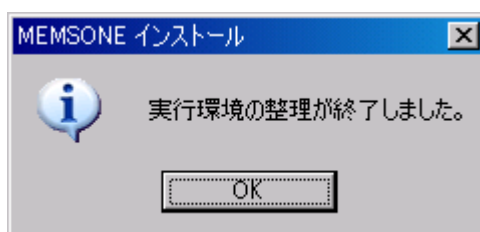
5. 6 完了の実行

(0) プロセス選択画面

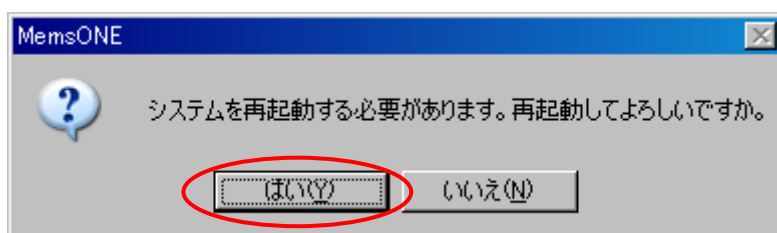


「完了(必須)」の実行は必須です。必ず実行してください。

(1) 終了の確認画面



下記の画面表示に対して、「はい」を選択して、PC を再起動してください。



以上で、MemsONE の DVD メディアによるアンインストールは終了です。

補足 1. MySQL の同居について

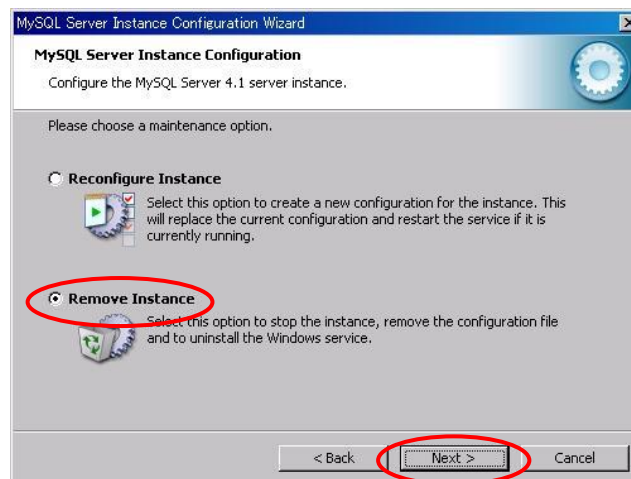
例として、MySQL4.1 が既にインストールされていて、MySQL5.0 と同居する場合を説明します。下記の手順は、2. メディア媒体による MySQL5.0 のインストール前に実行してください。

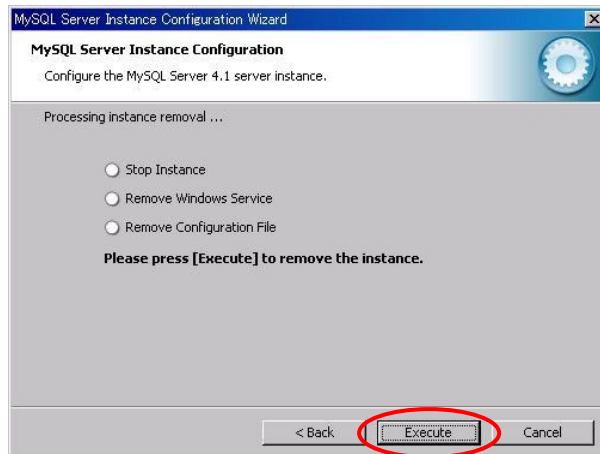
MySQL4.1 の MySQL Sever Instance を削除します。スタートメニューより、「プログラム/MySQL/MySQL Server 4.1/MySQL Server Instance Config Wizard」を選択してください。

(1) 開始画面

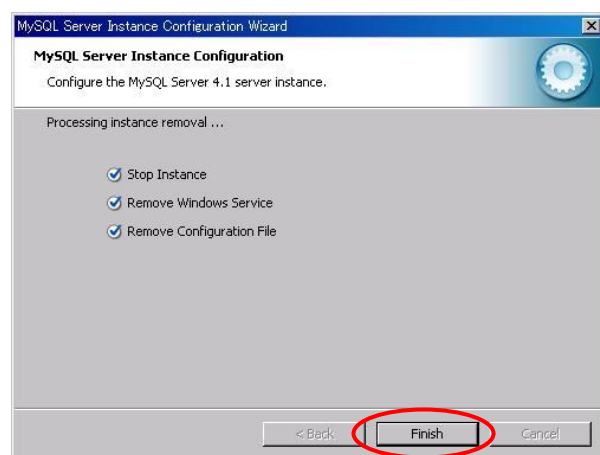


(2) 削除を選択





(3) 完了



以上